

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

北朝鮮の小学校でコンピュータと英語が正式科目に

『朝鮮新報』によれば、2008年9月1日から、北朝鮮各地の小学校でコンピュータと英語科目の授業がいっせいに行われた。これは3年生以上を対象としたもので、新学期から正式科目として導入された。

建国60年の祝賀行事開催

平壤では建国60周年の記念日となる2008年9月10日を前後して、様々な祝賀行事が開催された。9月8日には、「建国60周年慶祝中央報告大会」が平壤体育館で行われた。同日午後、綾羅島のメーデスタジアムでマスゲーム「繁栄あれ祖国よ」が行われた。9月9日の夕方には「建国60周年慶祝労働赤衛隊閲兵式」が金日成広場で行われた。日本からは南昇祐・総聯中央副議長を団長とする在日朝鮮人祝賀団などが参加した。閲兵式の後、青年学生たちによる、たいまつ行進「先軍の祖国」が行われた。9月10日には、大マスゲーム・芸術公演「アリラン」が行われた。

北朝鮮とラオス、スポーツ協力に関する覚書調印

『朝鮮新報』によると、北朝鮮の体育指導委員会とラオスの国家体育委員会との間のスポーツ協力に関する覚書が2008年9月18日、平壤の人民文化宮殿で調印された。北朝鮮とラオスの間では、2008年6月に民事・刑事事件での相互法律上援助提供に関する条約が締結され、北朝鮮の公報委員会とラオスの公報および文化省間の共同公報委員会構成に関する合意書が調印されたほか、8月末から9月始めにかけてラオスのブアソン・ブパワン首相が北朝鮮を訪問するなど、今年に入って交流が活発化している。

金永南最高人民会議常任委員長、フランス・エジプトの企業人と会見

『朝鮮中央通信』によれば、2008年9月24日、北朝鮮の最高人民会議常任委員会の金永南委員長は万寿台議事堂で、フランス・ラファージュ社のブルーノ・ラフォン社長とエジプト・オラスコム建設（OCI）のナセフ・サウリス社長をはじめとする一行と会見した。オラスコム建設は、最近、祥原セメント工場

第4回平壤秋季国際商品展覧会開催

『朝鮮新報』によれば、2008年9月22日～25日、第4回平壤秋季国際商品展覧会が3大革命展示館で行われた。会場には、工作機械、電気・電子設備、石油化学製品、医薬

品、日用品、食品などが展示された。この展覧会には、北朝鮮国内の40余社と15の国と地域から111社の企業が参加した。欧州からは23社が参加し、アジアからは中国、シンガポール、インドネシア、台湾から参加があった。

北朝鮮で人口一斉調査が行われる

『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮が2008年10月1日～15日まで人口一斉調査（センサス）を行った。調査は世帯を調査単位とし、個別の人に調査員が直接対面して調査する方法で行う。今回の調査項目には、人口学的指標と教育水準、労働生活、人民経済部門に関する指標をはじめ数十の項目が含まれている。調査には数万人の調査員と調査監督員が動員された。

羅津 - ハサン鉄道および羅津港改修事業の着工式が行われる

『朝鮮新報』によれば、2008年10月4日、北朝鮮の羅先市豆満江駅前で行われた。着工式には北朝鮮側から全吉洙鉄道相、弓錫雄外務次官、金哲鉄道省次官、李明山貿易省次官、キム・スヨル羅先市人民委員会委員長をはじめと関係者が、ロシア側からはウラジミール・ヤクーニン総社長を団長とするロシア鉄道株式会社代表団と、セルゲイ・ダリキン沿海地方行政長官、アレクセイ・ポロダフキン外務次官、ワレリ・スヒニン駐朝ロシア大使が参加した。

この工事で、羅津 - ハサン間鉄道は年間400万トンの輸送能力を持ち、羅津港は年間10万個のコンテナ輸送能力を持つ見通しだ。完工は2010年10月末の予定である。

日本の対北朝鮮経済制裁延長

日本政府は2008年10月10日の閣議で、北朝鮮に対する同国船籍船舶の入港全面禁止や全品目の輸入禁止などを内容とする日本独自の経済制裁を半年間延長する方針を決定した。今回の延長による経済制裁の期限は、2009年4月13日となる。

米国、北朝鮮へのテロ支援国家指定を解除

米国政府は2008年10月11日、北朝鮮へのテロ支援国家指定の解除を発表した。北朝鮮が核施設への検証の枠組みについて同意したことを受けて、ブッシュ大統領が解除を承認した。

（ERINA調査研究部研究主任 三村光弘）